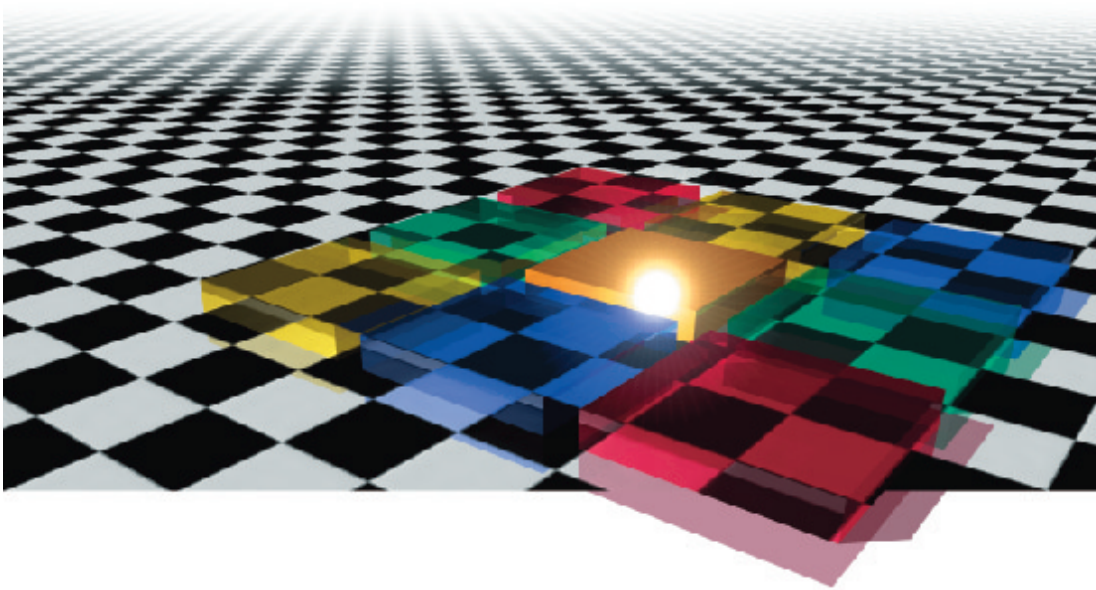


PostScript ファイルの作成

Adobe PageMaker 6.5J

MacOS 9.0 + LaserWriter 8.7

この文書の内容は、FACILIS IM Ver3.0、
Ver3.5 に対応しています。



PostScript ファイルは、DTPソフトとOS、プリンタドライバの組み合わせにより、いくつものバリエーションがあります。FACILIS IM で面付けする際には、このドキュメントをよくお読みの上、以下の点に注意してPostScript ファイルを作成してください。

PostScript ファイルを作成する前に、ハードディスクの空き容量を十分にとっておいてください。空き容量が不足している場合は、異常にファイルサイズが小さい、内容の欠けたPostScript ファイルが作成されます。

FACILIS IM Ver3.0からは、コンポジットファイルと色分解ファイルを混在して面付けできるようになりました。ただし、DTPソフトによってはコンポジット出力だけにしか対応していないものもありますので、色分解可能なコンポジットファイルや色分解ファイルと混在させる場合には注意してください。

また、コンポジットファイルと色分解ファイルを混在させた際に正常に出力できない場合は、どちらかの形式に統一して面付けを行ってみてください。特に、面付け後の色分解に問題がある場合は、色分解ファイルに統一して面付けを行ってみてください。

カラーの画像データをDTPソフト上で貼り込む際には、CMYK形式になっているものを使用することをおすすめします。RGB形式のカラー画像データでもCMYKに変換して出力できるRIPもありますが、色味の微妙な違いが出ることもあるためです。

画像データをDTPソフト上で貼り込む際には、EPS形式やTIFF形式などの、ひとつの画像フォーマットに統一する方が、出力トラブルを減らすことができます。

DTPソフト上でDCS (Desktop Color Separation) 形式のファイルを貼り込んだ場合は、色分解を行ってPostScript ファイルを作成してください。コンポジットで作成すると、DCSの機能が正常に働かなくなります。

特色を持つデータの色分解出力では、以下の点に注意してください。

PostScript ファイル (またはEPS ファイル) に、特色に関するDSC (Document Structuring Convention : 文書構造化の規約) コメント (%%DocumentCustomColors:、%%CMYKCustomColor:) が存在し、かつB-Makerで正しい特色名が指定されていなければなりません。

特色名には、半角小括弧、つまり '(' と ')' は使用しないでください。また、特に Adobe Illustrator では、日本語の使用は避けてください。

PostScript ファイルを作成する際は、出力環境に合ったPPD (PostScript Printer Description) ファイルを使用してください。最新のPPDファイルは、出力機のメーカーから入手することができます。

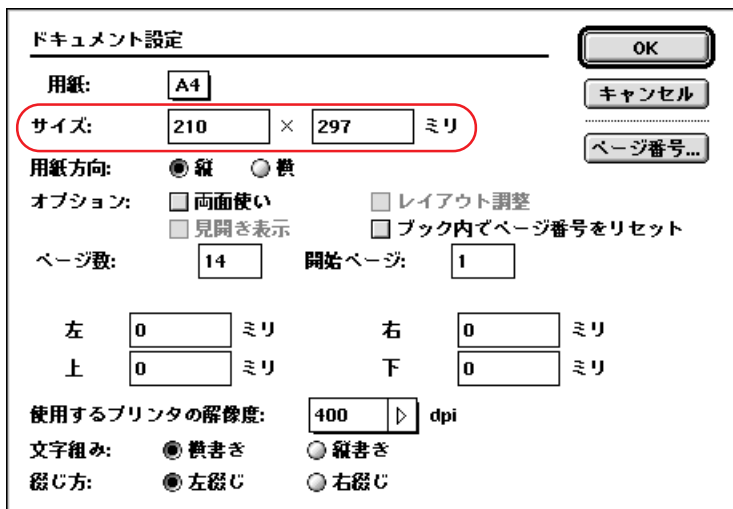
RIPやプリントサーバでOPI (Open Prepress Interface) 機能を使用する場合は、各システムの取扱説明書を参照してください。

ファイルメニューから「リンク設定...」を選択してください。



全ての貼り込み画像が、最新のリンク情報を持っていることを確認してください。リンク情報に問題がある場合は、「リンク情報...」をクリックして、最新のリンク情報を持つようにリンクを張り直してください。

ファイルメニューから「リンク設定...」を選択してください。



用紙のサイズを確認してください。

アップルメニューから「セクタ」を選択してください。



「LaserWriter8」を選択し、右側のリストに表示された中から、目的の出力機を選択してください。

ファイルメニューから「プリント...」を選択してください。

プリント - ドキュメント

プリンタ: CLW 3320PS_Direct
形式: DS SDP-2600AM_YCKM_LJF

印刷枚数: 1 校正刷り 丁合い
 後ろのページから

ページ
 全てのページ 印刷ページ: 両方
 ページ範囲: 1-14 見開きで印刷
 「印刷しない」指定を無視 白紙のページも印刷

ブック
 ブックの全ての文書を印刷
 文書毎の用紙設定を使用

用紙方向
 縦方向 横方向

プリント
キャンセル
プリント設定
用紙設定
オプション
カラー
プリンタ特性
リセット

プリンタ:「セレクト」で選択した出力機や仮想プリンタが選択されていることを確認してください。
形式:目的の出力機のPPDファイルを選択してください。選択したPPDファイルの持つスクリーン設定値は、「カラー」ボタンをクリックすると確認、設定することができます。

印刷枚数:「1」に設定してください。

校正刷り:チェックしないでください。

丁合い:チェックしないでください。

後ろのページから:通常はチェックしないでください。ページの並びを逆順にする必要がある場合には、

FACILIS IMでPostScriptファイルを面付けするときに逆順で割り付けることもできます。

ページ:PostScriptファイルに書き出したい範囲によって、「全てのページ」か「ページ範囲」のどちらかを選択してください。

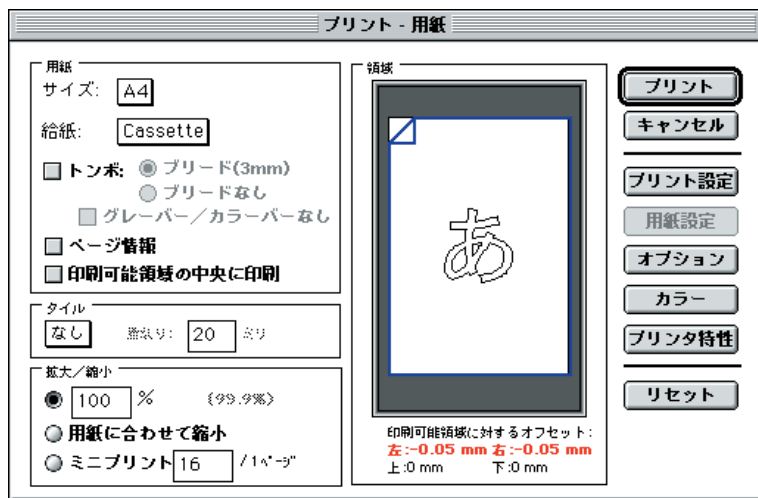
「印刷しない」指定を無視:チェックしないでください。

印刷ページ:通常は「両方」を選択してください。

白紙のページも印刷:チェックしてください。文書に白紙ページが含まれている場合は、このチェックをしないと、白紙ページをスキップしてPostScriptファイルを作成するため、ページの順序がずれてしまいます。

ブック:FACILIS IMは、ブック構成のPostScriptファイルの面付けにも対応しています。ただし、各文書ごとに用紙サイズを変えている場合は面付け時にトラブルになりやすいので、ブック内の文書を一括して単一のPostScriptファイルに書き出すのは避けて、文書ごとにPostScriptファイルを作成してください。

用紙方向:「縦方向」(左側のアイコン)を選択してください。ここでいう方向は用紙の向きではなく文書の置き位置ですので、横長ページの文書であっても「縦方向」を選択することになります。



サイズ:ドキュメント設定で確認した用紙のサイズを選択してください。

給紙:面付け用 PostScript ファイル作成には、関係ない設定です。

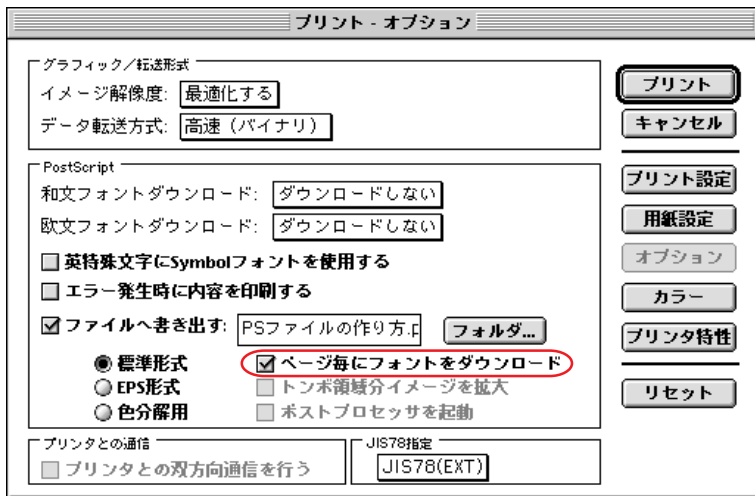
トンボ:チェックしないでください。FACILIS IM で面付けする際には、ページごとのトンボは不要です。また、必要なトンボはFACILIS IM側で設定することができます。

ページ情報:チェックしないでください。

印刷可能領域の中央に印刷:チェックしないでください。

タイトル:「なし」を選択してください。

拡大/縮小:通常は「100%」に設定してください。



イメージ解像度:「最適化する」を選択してください。
データ転送方式:「高速(バイナリ)」を選択してください。

和文フォントダウンロード:出力環境に合わせて設定してください。

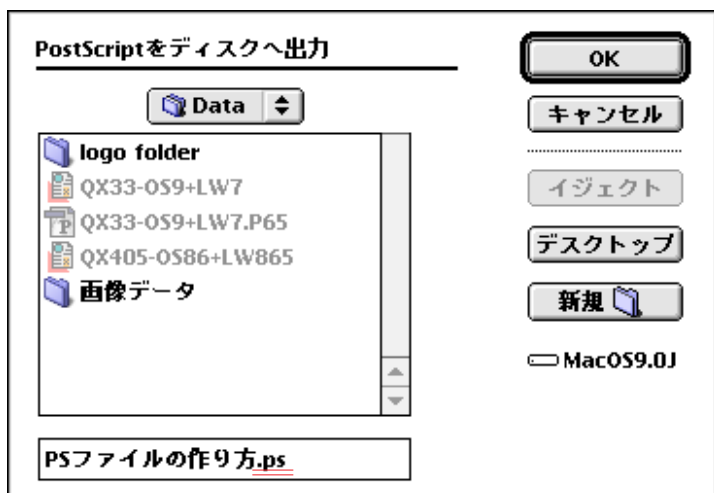
欧文フォントダウンロード:出力環境に合わせて設定してください。

英特殊文字にSymbolフォントを使用する:チェックしないでください。

エラー発生時に内容を印刷する:チェックしないでください。

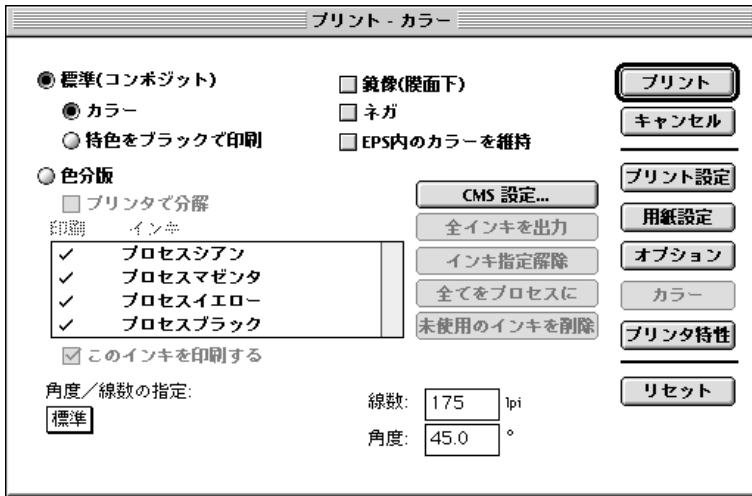
ファイルへ書き出す:チェックしてください。チェックしたら「フォルダ...」ボタンをクリックして、PostScript ファイルの保存先とファイル名を設定してください(下図参照)。
また、通常は「標準形式」を選択しますが、OPI (Open Prepress Interface) を用いる場合には「色分解用」を選択する必要があります。

ページ毎にフォントをダウンロード:チェックしてください。このチェックをしていないPostScript ファイルは、FACILIS IM で面付け出力するときにエラーを発生します。



PostScript ファイルの保存先と、ファイル名を設定して「保存」ボタンをクリックしてください。

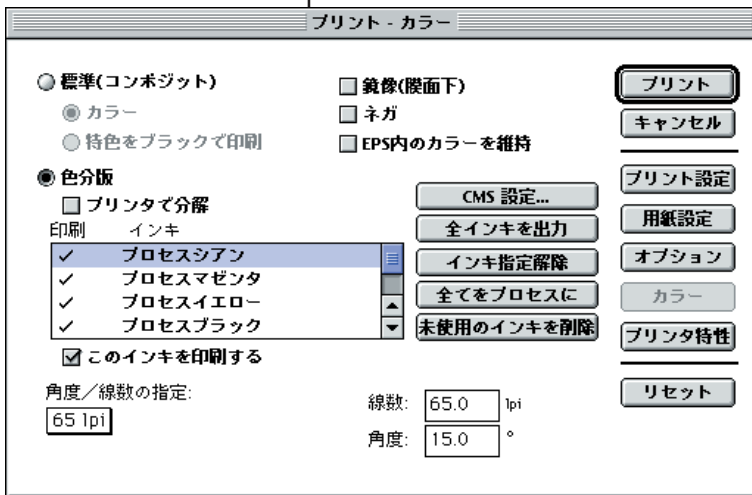
FACILIS IM Ver3.0 からは、ファイル名の最後は ".ps" などの所定の拡張子になっていないと、面付け対象ファイルとして認識しないようになりました。



FACILIS IM が RIP で色分解を行う場合は、「標準 (コンポジット)」を選択してください。

色分解ファイルを作成する場合は、「色分版」を選択してください。この際、「プリンタで分解」はチェックしないでください。

選択している PPD ファイルによっては、「色分版」を選択したときに「プリンタで分解」を選べる場合がありますが、チェックしないでください。

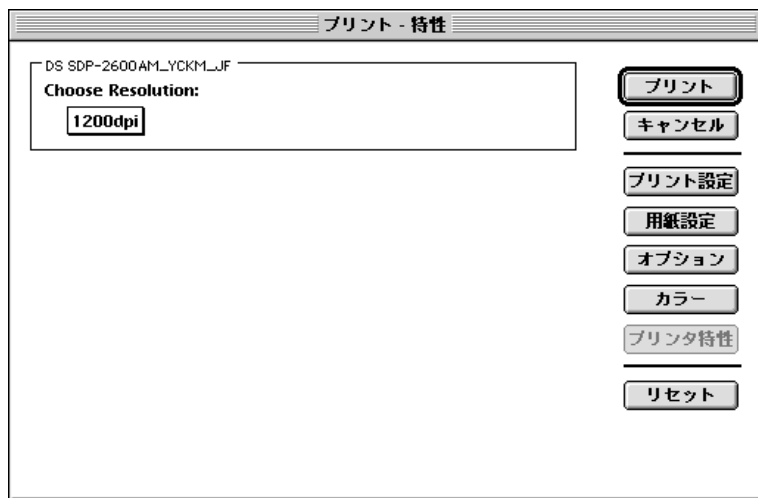


鏡像 (膜面下): チェックしないでください。製版工程の都合で版画像を鏡像にする必要がある場合には、FACILIS IM 側で鏡像設定を行えます。

ネガ: チェックしないでください。製版工程の都合で版画像をネガにする必要がある場合には、FACILIS IM 側でネガ設定を行えます。

EPS 内のカラーを維持: 仕事内容に合わせて設定してください。

カラー設定の詳しい説明は、PageMaker のユーザガイドを参照してください。



プリント設定で選択したPPDファイルによっては、ここで出力機の設定を行うことができます。

ここに表示される設定項目は出力機ごとに異なりますので、ご使用の出力環境に合わせて設定を行ってください。

ただし、ネガや鏡像の設定は行わないでください。

設定が完了したら、「プリント」ボタンをクリックしてPostScriptファイルを作成してください。

商標について

PostScript、PageMaker はアドビシステムズ社の登録商標です。

MacOS、LaserWriter はアップルコンピュータ社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。